

歩いてらせるまち松山 市駅前広場「つなぐ」 ワークショップ 通信

ひとの賑わいをつなぐ ひとの往来をつなぐ 松山の歴史・文化をつなぐ
みんなの想いを「つなぐ」交流広場へ

松山市駅に大きな広場が誕生します！

松山市では、安全・快適な歩行空間の形成や、にぎわい・憩い空間の創出、公共交通の利用促進などを目的に、1日約3万人が利用し、市内最大の交通結節点である松山市駅の「人々の往来と賑わいを「つなぐ」松山の交通・交流拠点」をコンセプトとする改変を進めています。

この一環として、**緑やベンチ、イベント設備等を備えた交流広場**が整備されます（松山市駅前広場整備事業 令和8年中完成予定）。

交流広場の整備効果を周辺のまちづくり等へと繋げていくためには、この交流広場を有効に活用し、人々の居場所（プレイス）と呼べる場所にしていくことが重要です。

この第一歩として、今回、**新たに整備される交流広場のことを知り、整備後の活用策を地元の方やまちづくり活動に関心のある関係者が一緒になって考えること**を目的に、第1回まちづくりワークショップを開催しました。

なお、このワークショップについては、令和5年度中、計3回の開催を予定しています。



—— みんなの想いを「つなぐ」^{まちなか}交流広場へ ——

みんなでまちあるき、市駅前広場の今後について、みんなで考えました！

第1回ワークショップ（令和5年10月27日）当日の流れ

ワークショップでは、新たに生まれる「松山市駅前広場」の整備の内容や有効活用の必要性を踏まえて、「**まちあるき見学会**」として交流広場が整備される現地の状況や松山アーバンデザインセンター（UDCM）が実施する「**社会実験 まちなか mini HiROBA**」の様子を見学しました。

また、見学・まちあるきとあわせ、「**プレイス・ゲーム**」と呼ばれる、場所のポテンシャルや課題の抽出をゲーム感覚で行うワークショップを実施し、市駅前広場の今後についてみんなで楽しく語り合いました。

最後に、参加者それぞれで「新しく生まれる交流広場でしたいこと（過ごし方）」や「そのために自分ができること」について考え、新しくなる市駅前広場で必要となる取組等について、自分事として考えて頂きました。

◆ワークショップ参加メンバー（計33名が参加）

- 松山市駅周辺の地元関係者（商店街振興組合、商業施設等）
- 交通事業者
- お城下マルシェ関係者
- その他関係組織や大学生（愛媛大学・松山大学）

はじめに

- ・ 開会挨拶
- ・ ワークショップの目的と概要の説明

第1部 市駅前まちあるき見学会

- ・ 市駅前広場の整備についての説明
- ・ まちあるき見学会

第2部 プレイス・ゲーム（まちづくりワークショップ）

- ・ グループワーク
- ・ 各班発表

おわりに

- ・ 「自分事」として考える
- ・ 写真撮影



■まちあるき & 松山市駅前整備事業 現地説明会

松山市都市・交通計画課の担当職員が現地を案内し、市駅前広場の改変後の姿や経緯について説明しました。

参加者の方々は、**新しくできる市駅前広場をイメージしながら**、現在の松山市駅前の空間の潜在力や課題を評価し、みんながワクワクするような「空間の使い方」を一緒に考えました。



▲まちあるきの様子

PLACE GAME (松山市駅前の場の評価)

グループで楽しく、まちあるき、会話をしながら、市駅前周辺の将来の姿を想像しました。

市駅前周辺の現状やポテンシャルについて、**快適さと印象**（清潔さや魅力があるか）、**アクセスと接続**（公共交通へのアクセスがよいか）、**利用と活動**（空間がよく使われているか）、**社交性**（地域の誇りやコミュニティが感じられるか）などの観点から評価しました！



班のみんなで見学を見て話し合えて良かったです！



新しく整備される広場でも、ゆっくり過ごしたい！

■まちなか mini HiROBA [社会実験見学会]

社会実験を企画した松山アーバンデザインセンター（UDCM）の尾形愛実さんより、憩いと交流の空間「まちなか mini HiROBA」の取組の経緯や目的について説明を頂きました。

参加者は、設置されているベンチの製作過程や使い方、空間を演出する植栽について、**実際に体験しながら**説明を聞き、新たに誕生する松山市駅前広場の利活用のイメージを膨らませました！



▲まちなか mini HiROBAの見学の様子

第2部 PLACE GAME (プレイス・ゲーム) まちづくりワークショップ

■グループワーク&意見交換会

まちあるき見学会の後には、みんなでテーブルを囲み、新しい松山のパブリックスペースである市駅前広場の今後について、楽しくグループワーク&意見交換を行いました！

はじめに、市駅前まちあるき見学会で実際に見た、「**市駅前周辺の良い点・悪い点**」についてそれぞれが語り、共有しました。

そして、「**市駅前周辺が持つ機会（ポテンシャル）や課題**」について考え、さらに市駅前周辺の理解を深めました。

最後に、「市駅前周辺が持つ機会（ポテンシャル）や課題」を活かし、多くの人々が居心地が良いと思える空間にしたり、課題や問題を解消するために、「**市駅前広場が整備されるまでにできること**」と「**市駅前広場が整備された後に長期的にできること**」について、アイデアを出しながらイメージを具体化していきました。

グループワークの最後には、各班で検討したユニークなアイデアを参加者全員に発表することで、参加者の皆さんは、新たな気づきを得ました。



▲全体発表の様子

▼このような意見が出ました ▼

市駅前周辺の良い点や悪い点（まとめ）

- お店多い、昔の雰囲気
- コンパクトな交通結節点
- 公共交通のアクセス良い
- 解放感
- 平日も思ったより人が多い
- 自転車（駐輪多い）
- 歩道狭い、案内わかりづらい
- 日当たり悪い、うす暗い
- 松山らしさがない
- 緑が少ない

市駅前周辺の持つ機会や課題（まとめ）

- 交通結節点としてのポテンシャルは高いが「通過点」になっている
- 人通りは多いが、滞留する場所がない、若者が来る理由がない
- 駐輪問題が目立ち、景観や歩きやすさに悪影響
- 松山らしさシンボルがない、交流場所になってない

すぐに行えること（広場整備前）（まとめ）

- 市駅前と花園町の賑わいづくりの連携（マルシェの拡大など）
- 駐輪問題に対する意識啓発、案内板の設置・誘導員など
- テーブルや椅子の設置、緑を多くする、Wi-Fi環境の整備
- SNS映えするシンボルをつくり、発信する

長期的な改善（広場整備後）（まとめ）

- 学生の活動を発表、パフォーマンスの場にする
- 専門学校などとコラボし通りすがりの人が気になるイベントを開催する
- 水道や電気などイベントができる環境づくり、活動の組織づくり
- シンボルをつくる（例：大きなミカンの木、坊ちゃん列車の展示）

第2回ワークショップにむけて

あなたのしたいこと、「市駅前にもこんなの、あったらいいな」が実現すれば
あなたの暮らしはもっと豊かなものになりませんか？

今回のワークショップでは、グループワークとともに、参加者各自が「市駅前広場でしたいこと」や「そのために自分ができること」について自分事として検討して頂きました。

次回のワークショップでは、「仲間と一緒にできることからはじめてみよう！」をテーマとして、実際に皆さんが交流広場でしたいことを実現させていくための方向性をみんなで考えていきます。



新しく生まれる市駅前広場でしたいこと（意見の例）

のんびり過ごす

まったり
 日なたぼっこ
 お昼寝
 ピクニック
 おしゃべり
 犬と散歩

食べる・買い物

ビアガーデン
 マルシェ巡り
 キッチンカー・
 美味しいもの巡り
 夜市・物産展

賑わいイベント

映画鑑賞・演劇・音楽ライブ
 パブリックビューイング
 体験ワークショップ
 （伊予絃など）

体験・参加・披露

マルシェ開催

イベント企画
 チャレンジショップ

居場所と
 繋がりがづくり

自分ができること 仕事を通じて・一市民として（意見の例）

- 商店街・店舗の魅力を上げる、雰囲気づくり・連携
- マルシェの運営/出店、体験イベント等の実施
- サークル活動で市駅前広場を利用、発表会の開催
- 市駅前の利用頻度を増やす・出かける
- ボランティア（清掃活動・イベント運営）
- 興味をもって、出掛ける
- SNSで情報交換・友達に発信
- マナーを守って広場を使用
- 市駅を人に紹介し、つなぐ
- 家族・子どもたちに市駅を楽しく感じさせる



次回ワークショップ

歩いてくらせるまち松山
市駅前広場
「つなぐ」
 ワークショップ Vol.2
 (R5.12.13 開催予定)



～方向性の共有 & チームビルディング～

みんなでプレイスメイキング～！



▲第1回ワークショップの参加者のみなさん

みなさんの感想

自分事として考えることができました。

非常に有意義なワークショップになった。色々な人の意見を聞いて良かった。

普段接することのない方々と一緒に松山市駅前を考えることができ楽しかった。

市駅前のポテンシャルの高さを再確認できた。これからもよい松山市のために尽力していきたい。

Place Making
 Matsuyama City

プレイスメイキングとは、わたしたちが普段暮らすまちなかのちょっとした空間を、そのまちに暮らす人たちやまちへ訪れる人たちにとって居心地のよい空間に変え、そこを行き来する人の居場所をつくっていくことをいいます。

問い合わせ先

松山市 都市整備部 都市・交通計画課 Tel:089-948-6021

